

～小学校「外国語活動」・中学校「外国語」編～

	小学校	中学校																							
導入・改訂の基本方針	<p>小学校段階での国際理解活動やその一環としての英語活動、外国人とのコミュニケーション活動などが、現在多くの学校で実施されているが、取組内容に相当なばらつき(指導内容や時間数等)があり、国としてその充実に向けて具体的に取組を進める。</p> <p>「英会話」学習などのスキル中心の授業やダイアログ(対話)の暗唱等を主な内容とする授業は、「小学校外国語活動」の目標とは合致しない。</p> <p>小学校 外国語活動・・・音声面を中心として外国語を用いたコミュニケーション能力の素地を育成</p>	<p>「聞くこと」、「話すこと」、「読むこと」、「書くこと」の4技能を総合的に育成する指導の充実</p> <p>教材の題材や内容について、4技能を総合的に育成するための活動に資するものとなるよう改善</p> <p>4技能を統合的に活用できるコミュニケーション能力の育成とともに、文法をコミュニケーションを支えるものとして文法指導を言語活動と一体的に行うよう改善</p> <p>「聞くこと」、「話すこと」の指導内容の改善とともに、「読むこと」、「書くこと」の指導の充実を図り、高等学校やその後の生涯にわたる外国語学習の基礎を育成</p>																							
目標等	<p>外国語を通じて、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながら、コミュニケーション能力の素地を養う。</p> <hr/> <p>外国語を通じて、言語や文化について体験的に理解を深める。</p> <p>3 外国語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図る。</p> <p>外国語を通じて、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませる。</p> <p>小学校では、この3つの柱を踏まえた活動を統合的に体験することで、中・高等学校等における外国語科の学習につながるコミュニケーション能力の素地づくり</p>	<p>外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う。</p> <p>外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深める。</p> <p>外国語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図る。</p> <p>聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う。</p> <p>【指導事項の追加】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聞くこと：「まとまりのある英語を聞いて、概要や要点を適切に聞き取ること」 ・話すこと：「与えられたテーマについて簡単なスピーチをすること」 ・読むこと…「話の内容や書き手の意見などに対して感想を述べたり、賛否やその理由を示したりするなどすることができるよう、書かれた内容や考えなどをとらえること」 <p>【指導事項の再編】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書くこと 【現行】 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(ウ)聞いたり読んだりしたことについてメモをとったり感想、賛否やその理由を書いたりするなど。</p> <p>(エ)身近な場面における出来事や体験したことなどについて、自分の考えや気持ちなどを書くこと</p> </div> <p>再編</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(イ)語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと。</p> <p>(エ)身近な場面における出来事や体験したことなどについて、自分の考えや気持ちなどを書くこと。</p> <p>(オ)自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように、文と文のつながりなどに注意して文章を書くこと。</p> </div> <p>小学校外国語活動との関連に留意して指導計画を適切に作成</p>																							
主な指導内容	<p>外国語活動においては、多くの表現を覚えたり、細かい文構造などに関する抽象的な概念について理解させたりすることは目標としていない。</p> <p>音声面に関しては、児童の柔軟な適応力を十分生かす。</p> <p>外国語活動では、外国語のもつ音声やリズムなどに慣れ親しませたり、言葉の面白さや豊かさ、多様な文化があることやさまざまな見方や考え方があることを知識として指導するのではなく、体験的な活動を通して具体的に気付かせていくことが大切。</p> <p>アルファベットなどの文字の指導については、例えば、アルファベットの活字体の大文字や小文字に触れる段階にとどめる等、中学校外国語科の指導とも連携させ、児童に対して過度の負担を強いることなく指導する必要がある。</p> <p>過度に文字を習得させることや、過度に簡単な定型対話を暗記させ演じさせることなどを目的としたものを活用することは、外国語活動の目標にそぐわない</p>	<p>【現行】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(ウ)聞いたり読んだりしたことについてメモをとったり感想、賛否やその理由を書いたりするなど。</p> <p>(エ)身近な場面における出来事や体験したことなどについて、自分の考えや気持ちなどを書くこと</p> </div> <p>再編</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(イ)語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと。</p> <p>(エ)身近な場面における出来事や体験したことなどについて、自分の考えや気持ちなどを書くこと。</p> <p>(オ)自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように、文と文のつながりなどに注意して文章を書くこと。</p> </div> <p>小学校外国語活動との関連に留意して指導計画を適切に作成</p>																							
時数	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td></td> <td>H21 度</td> <td>H22 度</td> <td>H23 度以降</td> </tr> <tr> <td>5・6年</td> <td>9(月1)</td> <td>18(月2)</td> <td>35h(週1)</td> </tr> </table> <p>ネイティブスピーカーによる指導時間も含む</p>		H21 度	H22 度	H23 度以降	5・6年	9(月1)	18(月2)	35h(週1)	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td></td> <td>1年</td> <td>2年</td> <td>3年</td> <td>指導語数</td> </tr> <tr> <td>現行</td> <td>105h(3)</td> <td>105h(3)</td> <td>105(3)</td> <td>900 語程度</td> </tr> <tr> <td>H24 度～</td> <td>140h(4)</td> <td>140h(4)</td> <td>140h(4)</td> <td>1200 語程度</td> </tr> </table> <p>移行期間中の措置はない</p>		1年	2年	3年	指導語数	現行	105h(3)	105h(3)	105(3)	900 語程度	H24 度～	140h(4)	140h(4)	140h(4)	1200 語程度
	H21 度	H22 度	H23 度以降																						
5・6年	9(月1)	18(月2)	35h(週1)																						
	1年	2年	3年	指導語数																					
現行	105h(3)	105h(3)	105(3)	900 語程度																					
H24 度～	140h(4)	140h(4)	140h(4)	1200 語程度																					

小学校のH21・22度は上記時間数以上でも可。中学校校区の関連小である程度、指導時間数・内容を揃える必要がある。中学校は移行期間中、学校の判断により新学習指導要領によることも可能である。(各校で教材、時数確保の工夫)外国語活動(英語)をとおして、小・中の連携が必要である。